

地域の特徴・特性

環境・公共施設

- 水害に弱い地域である。
- 高い建物や公共施設が少ない。

防災への対応

- 住民の防災への関心・意識が高い。
- 特に水害への危機感が高い。
- 防災訓練の参加者が多い。



地域の行事

- 単位自治会の行事が少ない。
- 市民体育祭への参加者が減少している。
- 地域の清掃活動への参加者は多い。
- 地元の祭の規模が縮小されつつある。
- 生活様式が多様化し自治会の世話が不要。

公民館・体育館

- 地区公民館の利用者が多い。
- 体育館の夜間利用者が多い。
- 自治公民館が多い。

生活環境

- 都市計画が進みライフラインが整備されつつある。
- 公園が多い。
- 駐車禁止区域が少ない。
- 違法駐車が少ない。
- 環状線・大縄場大橋線の交通量が多い。
- 道路網が整備されている。
- コミバス利用者が年々増加している。
- 集合住宅・新家が多くなった。

地域住民

- 若年層の流入者が多い。
- 子ども(人口)が増えている。
- 見守り隊が積極的に活動している。
- 三世帯同居世帯が少ない。(核家族化)

島まちづくりビジョン



地域の課題

公共施設・交通などに関する課題

- 公共施設が少ない。
 - ・災害時の避難所が少ない(島公民館・島小学校・JA島の三か所のみ)。
 - ・特に水害時の避難場所がない。



▲岐阜市による洪水ハザードマップ。長良川堤防決壊時には島地域全域が水に

- 公共交通機関によるJR岐阜駅・JR西岐阜駅・市役所・コミセン事務所・公立病院などへのアクセスが悪い。
- 環状線(鏡島大橋)と大縄場大橋の交通渋滞と交通事故多発問題。

- 市街地からのバス路線が少ない・最終バスの時間が早い。
- 消火器、消火栓が少ない。カーブミラー、街路灯が少ない。
- 街路樹が車の通行障害や歩行者の邪魔になっている。
- 利用者の少ない公園が多い。
- 昔からある地域の車道・歩道が狭く高齢者等の歩行が危ない(緊急車両が通れない)。

公民館の課題

- 駐車スペースが少ない。
 - ・夕方は放課後児童クラブ送迎が多く公民館利用者が使えない。
- 研修室が狭い(100名以上の開催が出来ない)。
- トイレが使いにくい(悪臭がする。扉が開閉できない)。
- 蛍光灯が少なく、公民館の駐車場及び回収ボックスの利用が不便。
- 体育館(夜間開放)の利用者は、島地区住民の比率が低い。

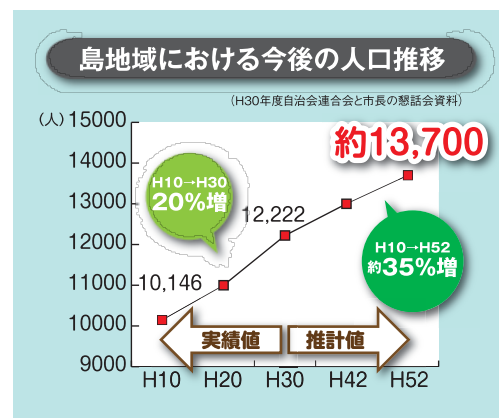
自治会加入率が低下

- 自治会加入率の低下が目立つ。
 - ・高齢者世帯になると自治会の脱会が目立つ。
 - ・新築宅の加入促進が図れていない。加入を誘わない地域もある。
 - ・市街地に比べ自治会居住区域が変則である。
 - ・自治会加入者のメリットが見えない。役が来るのがダメ。損得で考える。
 - ・自治会未加入でもデメリットを感じない。地域と関わりを嫌う人が増えた。
 - ・自治会活動への世代交代がされていない。

集合住宅世帯の自治会加入率 **3.4%** ※一戸建て世帯の加入率は83.2%

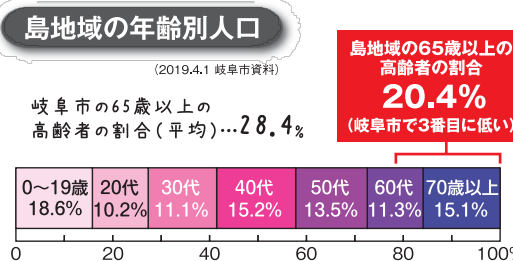
- 共同住宅の自治会加入率が極めて低い。戸建て住宅でも、流入した若い人が加入しない。
- 昔からある地域と新興地域の感覚の違い。
- 自治会未加入世帯の様子が分からない。

人口の流入



- 農家の高齢化・後継者不足で、農地の売却、住宅化している。
- 三世帯同居が減少(世帯の代表が若者で自治会活動に積極的でない)。
- 島地域への流入者が多い。人口増加に対応できていない。
 - ・人口・世帯数増加に伴い島小児童数が増加(今後5年間で100人以上増)。

- 児童数増加に伴う通常教室不足。学童教室が不足。
 - ・放課後児童クラブの増加(定員150名に対し173名を5教室で対応)。



担い手の不足

- 自治会長はじめ各種団体役員の担い手が不足している。
 - ・自治会活動に時間を割きづらい若年層が多い。また、定年を過ぎても再雇用で働く人が多くなった。
 - ・自治会長はじめ各種役員の短期化。

犯罪・防犯の課題

- 空き巣・車上荒らしが頻繁にある。
- 不審者情報が多くある。



ゴミ・資源回収の課題

- 自治会未加入者によるゴミ捨て(他地域の自治会未加入者や他市からの持込)。
- 資源回収量が減少(連合会の収入が減少)。



▲10年後の島を考えるワークショップ(2019.8.27)

地域の理想像へ近づける具体的な活動と見直し

【歴史文化を学ぶ・広める】

●地域の歴史や日本の歴史を学ぶ勉強会の開催(歴史講座・現行)

●歴史上の史跡巡りを復活させたい(歴史探訪)

●ウォークラリー(地域の史跡巡り兼ねる)

★デジタルでの記録保存発信(実施中)

- ・地域の歴史文化をデジタル化し地域に発信
- ★地域の伝統行事とコラボ(短期で実施)
- ★島の歴史の掘り起し(長期で実施)

【地域とのふれあい・防災防犯対策】

●バザー開催(島まちバザーとして継続)

- ・野菜の即売会。会員手作り(種まき・収穫)の楽しさ、大変さを感じながら行なう
- ・地元のSL愛好家に協力を求め、バザーに出展。乗車も可能なので子どもをはじめ大人も楽しむ

●「警戒中」プレートの作成・配付

★20~40歳独身男女のふれあいの機会の場づくり(長期で実施)

★大会場での放映会(短期で実施)(小学校のグラウンド等)

★夏休み、放課後に公民館を開放(中期で実施)

★若い世代が参加する活動(短期で実施)

★個人の趣味を活かす活動(中期で実施)

← まち全体の防犯意識の高さをアピールし、空き巣発生率が減少した。

【健やかな心と身体】

●ラジオ体操の普及

- ・「正しいラジオ体操を覚えよう」を昨年から実施

★校区ラジオ体操大会の開催(短年度実施)

★校区全体の盆踊り大会開催(中期で実施)

★学生ボランティアの参加(短期で実施)

★健康ウォークや健康ランニングの企画(中期で実施)

ラジオ体操は近所の大人・子どもが顔を合わせ、あいさつを交わす良い機会。

【活動内容を知ってもらう】

●島まち広報紙を年1回発行

●紙門松を配付

★月一回程度のミニ情報誌の発行(短期で実施)

★記録や記事の担当を募集(短期で実施)

←「紙門松」を配付し、まちづくり協議会の存在をアピール

※短期(3年以内)、中期(5年以内)、長期(8年以上)